

宮島麗子 みやまらき 評論家。明治二十二年七月東京生れ、昭和十一年五月十二日歿（一八九〇—一九三七）。舊姓八木。筆名八木麗子、宮島うら子等。朝報社の「婦人評論」記者。青鞞社に近づく、雑誌「審紅花」同人、さくこうわまた大杉榮等の「近代思想」同人となり、「遊艇と墮胎」、「母親の悲哀」等を發表。大正二年宮島資夫と結婚。のち新居格の紹介で實業文世社編輯部に入る。